

ひとのわ

こどもコンサート&ワークショップ

VOL.01

2026.3.21

保育者 たかもり
りょういち



LET'S SING
TOGETHER

麻生市民館

2026.3.21(土)

麻生市民館 視聴覚室

10:00~11:30

入場無料



@RY011114

主催：川崎市教育委員会

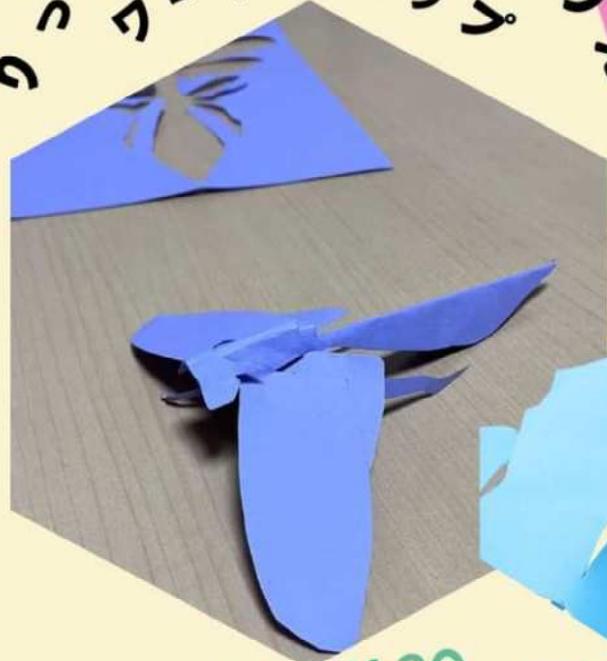
主催 川崎市教育委員会（ひとのわプロジェクト）



ひとのわ子どもコンサート + ひたいたいきりがみ&ぬりえ ワークショップ



入場無料



2026
3.21
どようび

10:00~11:30

場所 麻生市民館 視聴覚室

対象 どなたでもご参加ください

時間 10:00~11:30

①“はじめのコンビ”子どもコンサート♪
バイオリン（大園）×ギター（高森）

②切り紙・ぬりえワークショップ
（親子で一緒に体験してみよう）

保育者
高森 遼一

立体切り紙アーティスト 大園 一樹

一才七ヶ月の時に小児がんの一種の血液疾患を発症。抗がん剤の治療や様々な合併症の対応で、入院を繰り返して来た。腫瘍による下肢の麻痺で、中学1年から車イス使用。高校一年の夏、祖父の郷里に在る美術館で、一枚の紙で作る立体切り紙のスズムシを見たのをきっかけに、自己流で創作を始めた。昆虫や動物等いろいろなアイデアが浮かび、切るのも考えるのも楽しい。立体切り紙アーティストの講師として、麻生区内外でワークショップや個展を開催。また、麻生支援学校高等部入学後、音楽の授業でヴァイオリンを始めた。現在もアンサンブル麻生OBOの会で活動中。

幼稚園教諭・保育士・障害児者支援員を過算16年間、子どもたちと関わる仕事をする一方、我が子の誕生をきっかけに世界中の子どもたちに向け2023年から色鉛筆で絵を描きはじめた。それまで絵を描いたことが無く、生まれつき色覚異常の為、色の区別もほとんど無い。自身の絵を通じて子どもたちに「じぶんらしさ」を伝えている。表現した作品はニューヨーク、ドイツ、トルコ、日本各地の子どもに関連する機関に常設展示されている。楽譜を読むことが出来ず、ギターは日々の保育の中で独学で習得。

